

あれから5年が経ちました...

# 変化していく町の様子

震災が発生してから5年の間に、大船渡は確実に復旧復興しています。現在の大船渡の様子を写真で紹介します。



大船渡だより第37号の定点写真と比較すると、さらに復興が進み、新たな建物が建設されています。

## 防波堤・防潮堤



来年度末完成の予定で、湾口防波堤の工事が進んでいます。資材高騰や作業船不足が心配です。

防潮堤工事に伴う橋の架け替え工事。



8メートルを超える防潮堤工事。津波を防ぐ防潮堤。海が見えなくなり、景観を損なう防潮堤。

2016年3月12日に開業した新しい大船渡プラザホテル(左)。旧ホテル(右)は解体され、跡地の嵩上げ作業が進んでいます。



2016年3月に撮影された、ホテルと商業施設を建設中の写真。現在はどちらも開業しています。

## ホテル・商業施設

## 交通機関・災害公営住宅

再び整備されたBRT専用道路。



災害公営住宅が次々と完成し、仮設住宅からの引っ越しが始まっています。新しいコミュニティを作っていくことが大きな課題です。

●発行人 諏訪 榮治郎  
●編集 スタッフ一同

2017年1月16日発行 第37号

カトリック大阪教会管区  
カリタス大船渡ベース 地ノ森いこいの家

# 大船渡だより

## 01. 平南アパートでサロン活動を開始!

震災から5年10ヶ月が経過し、今まで訪問していた仮設住宅も撤去・集約化されてきています。

その一方で、今秋から新たに3ヶ所でサロン活動を開始しました。その内のひとつ、末崎町の平南(たいらみなみ)災害公営住宅にて12月7日にたこ焼きサロンを開催しました。こちらの災害公営住宅には仮設住宅に入居していた時に大船渡ベースのサロン活動に参加していた方々が何名か引っ越してきており、久しぶり、元気だったか、と声を掛けていただきました。

またこの日は他団体の方が参加して紙芝居を披露し、今後も継続して活動していきたいと言っていました。終了際に自治会の方から「とてもいい時間を過ごせました」と感謝の言葉を頂きました。



大船渡市の元中心地の様子(2016/12/11 撮影)



震災から5年9ヶ月...

## 11月・12月活動紹介

●仮設・公営住宅訪問  
後ノ入・地ノ森・富沢  
大立・杉下  
サポートセンターとみおか  
平南アパート

- ベースイベント
  - ・こどもサロン
  - ・手芸サロン
  - ・いこいのヨガ
  - ・カリタスシネマ
  - ・抹茶サロン
  - ・折り紙サロン
  - ・リース作り
- その他
  - ・教会支援
  - ・救援物資整理補助
  - ・漁業支援
  - ・個人依頼(窓ふき・引越し手伝い)

## ボランティア登録者数

男性578人 女性1085人 ⇒ 合計1663人

◆ボランティア数(11月16日~12月15日) 男性:6名 女性:0名

## 02. クリスマスリース作り

クリスマスまであと1ヶ月となった、11/23(水・祝)・24(木)に恒例のリース作りをベースで開催しました。今年は、「ドイツトウヒ」という長い松ぼっくりを使ったリースに挑戦です。

松ぼっくりをワイヤーで1つ1つ、リースにくくり付けるのですが、これが意外と大変で、自分の思い描く場所になかなか納まらず、苦戦する場面も見られましたが、時に黙々と、時に笑いが起こるといって作業を進め、各々素敵な作品が出来上がりました。同じ材料を使用しているのに、出来上がったリースは全然違って個性を感じました。

最後に、お互いの作品を品評しながらお茶っこし、ご自分の作品をお土産に持ち帰りました。とても楽しい時間となりました。



ボランティアさん募集中です!  
みなさんの特技を、ベースや仮設住宅の集会所で披露してみませんか? 興味のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。

カリタス大船渡ベース 地ノ森いこいの家 〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字地ノ森43-2

電話・FAX: 0192-47-4737 (9:00~18:00) 急用時: 090-5666-1747

●Eメール: ofunatobase@gmail.com ●ブログURL: http://ameblo.jp/ofunatobase/